

エリー

施工・取扱説明書

この度は本商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

末永くご愛用頂くために、本紙をよくお読み頂き、正しい施工・お取り扱いをお願い致します。なお、商品到着後は速やかに検品をお願い致します。傷等、商品に不備がありましたら商品到着後 10 日以内にご連絡ください。

施工終了後、本紙はお施主様にお渡しください。



注意事項

- 安全を確保するため、施工は必ず専門の方が行なってください。専門知識のない方が施工されると不具合の原因となることがあります。
- 水平・垂直は確実に出してください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように位置を決めてください。
- 基礎は 400mm 以上を目安に、現場に合わせて施工してください。
- コンクリート養生期間は十分に取、養生中は動かしたり振動させたりしないでください。
- 施工の際に傷をつけないようにしてください。
- 商品の改造は絶対にしないでください。
- 電気工事は必ず有資格者が行なってください。
- 寄りかかったりぶら下がったり、無理な荷重をかけないでください。

お手入れについて

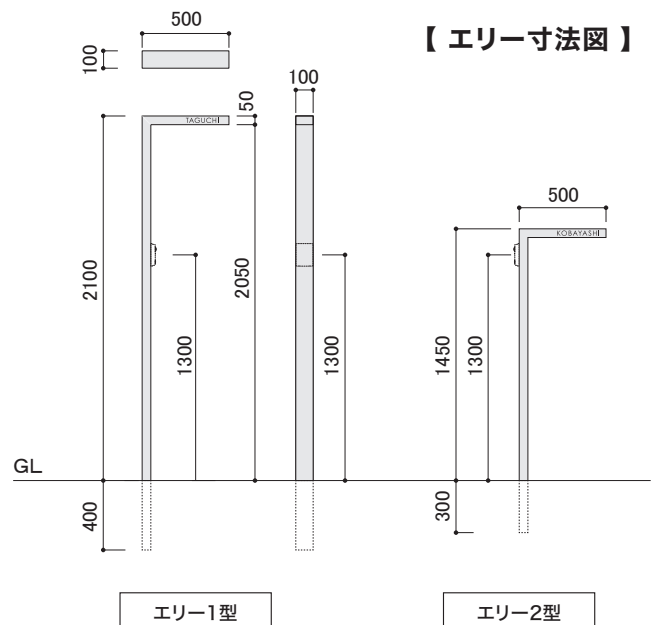
- 汚れた場合は柔らかい布やスポンジなどで水洗いか、もしくは中性洗剤をつけて洗った後、乾拭きしてください。
- タワシや研磨剤入りの洗剤等で洗うと表面に傷がつく恐れがありますので使用しないでください。
- 安全のため、がたつきがないか定期的にご確認ください。

梱包明細

● エリー1型・2型

機能門柱	本体	1
専用表札	亚克力	1
ポスト	ポストの施工要領書を参照 (専用取付台座はポストに同梱)	1
施工・取扱説明書(本紙)		1

※ ご注文内容によっては上記明細と異なる場合があります。



【 施工手順 】

1-1 本体の固定

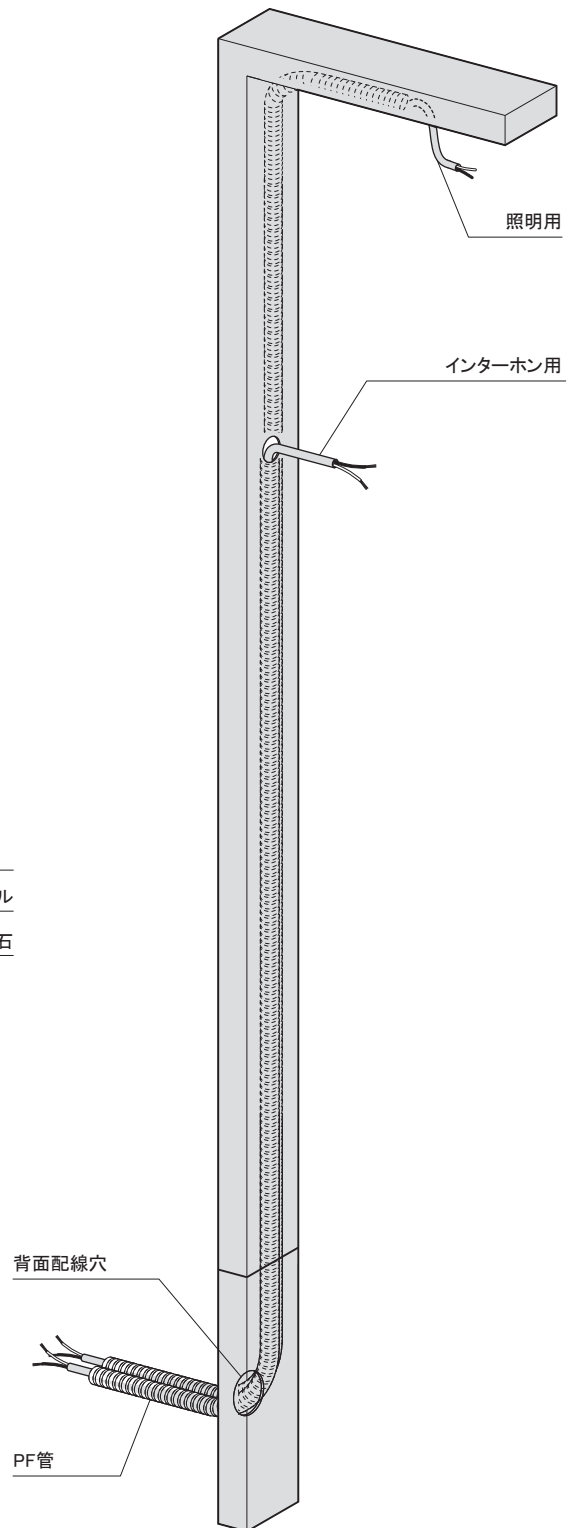
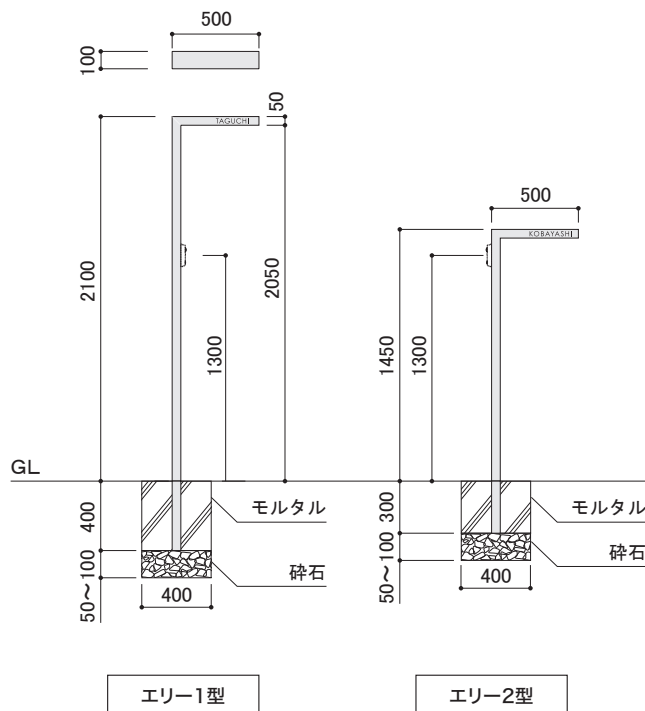
① エリーには左右勝手はありません。任意の向きで位置決めをします。

② 器具取付位置までPF管（呼び径 16）を挿入します。

❗ この時あらかじめ照明やインターホンの配線用に呼び線を通しておいてください。

③ 本体の水平・垂直を確認してコンクリートを打設します。

❗ 基礎は図を参考に現場に合わせて施工してください。

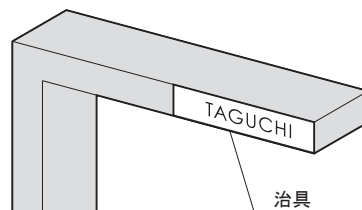


【 施工手順 】

2 専用表札の取り付け

- ① 取付面の埃や汚れを取り除きます。
- ② 取付治具を本体の端に合わせマスキングテープ等で仮固定します。
- ③ 文字に貼ってある両面テープを利用して貼り付けます。
- ④ タオル等の柔らかい布でよく擦り、確実に接着させます。
- ⑤ 取付治具を取り除きます。

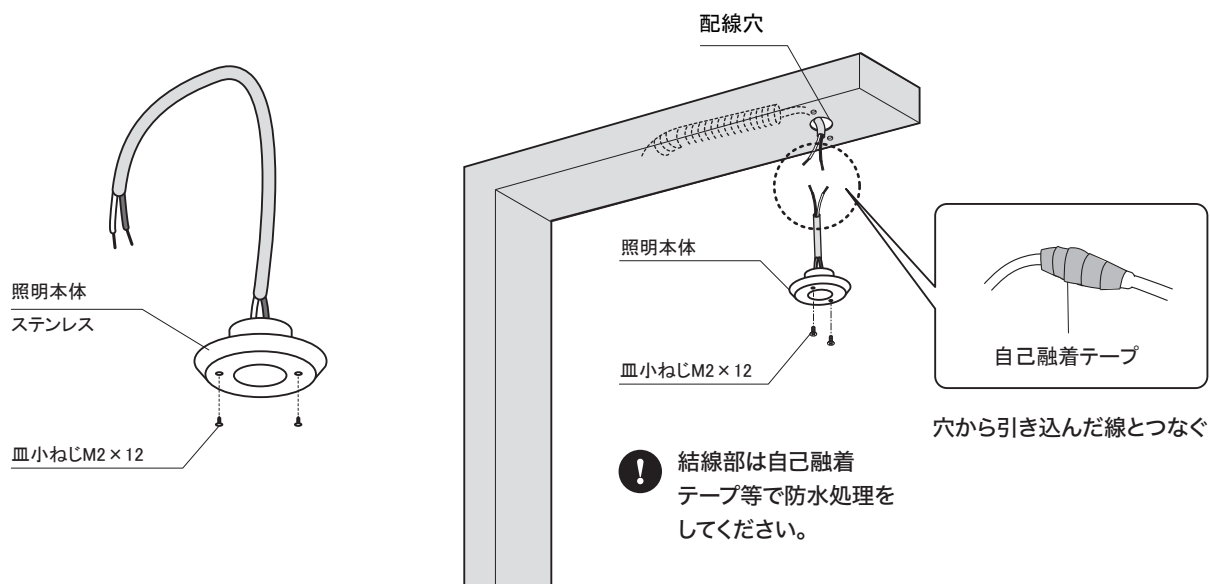
❗ 貼り付け作業の適温は 10～30℃です。
なるべく適温内の環境で行なってください。



❗ 治具の端を本体に
合わせてください。

3-1 特注 ダウンライトの取り付け

- ① 照明の施工要領書に従って取り付けてください。埋込ボックスは使用しないため除いてあります。



DC12V 仕様です。別売のトランスボックス ハイエンド (KE1-DT15) をご用意ください。
トランスボックスの施工についてはトランスボックスの施工要領書に従って行なってください。
故障の原因となるため AC100V への直結は絶対にしないでください。この器具には極性 (+, -) があります。
必ず確認の上結線してください。本製品は白線 (+)、黒線 (-) です。

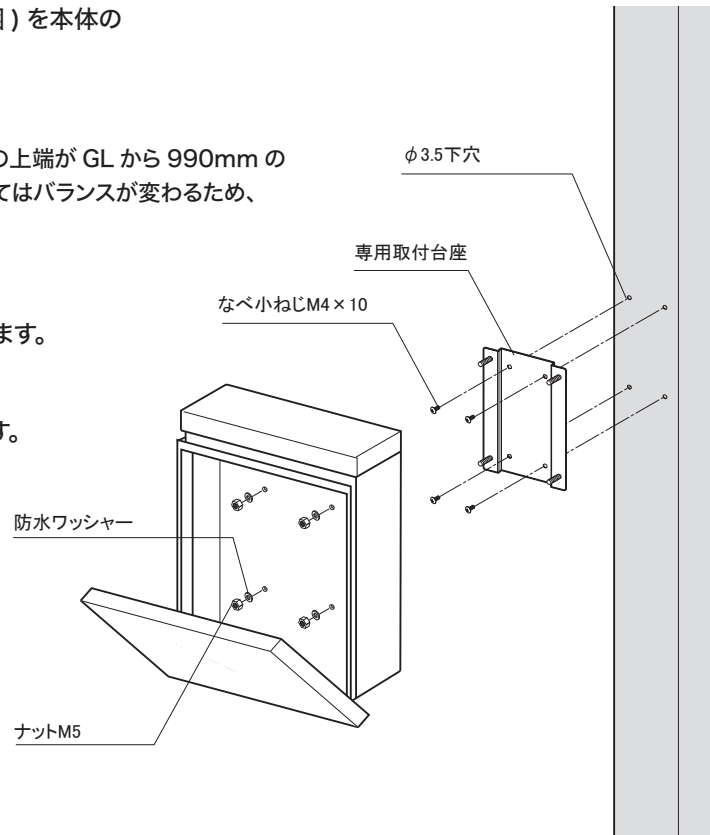
【 施工手順 】

4 ポストの取り付け

- ① 任意の高さで専用取付台座（ポストと同梱）を本体の側面に当て、取付穴 4 点をけがきます。

❗ 〈標準位置について〉
ポスト オープスの場合、専用取付台座の上端が GL から 990mm の高さが標準です。取り付けるポストによってはバランスが変わるため、適宜調整してください。

- ② けがいた位置に $\phi 3.5$ で下穴をあけ、同梱のなべ小ねじ (M4 × 10) で取り付けます。
- ③ 専用取付台座にポストを合わせ、同梱の防水ワッシャーとナット (M5) で固定します。



5 インターホンの取り付け

- ① インターホンの施工要領書に従って側面に取り付けてください。

❗ 〈標準位置について〉
インターホン子機の中心が GL から 1300mm の高さが標準です。現場の状況に合わせて調整してください。

